

令和5年度
地域福祉に関するアンケート調査結果
【民生委員・児童委員】

令和6年2月

高知市健康福祉部地域共生社会推進課

目 次

1. アンケート調査の概要	1
2. 回答者の概要	1
3. 地域における助け合いの状況	1
4. 地域でのつながり	2
5. 集いの場に関すること	2
6. 行政等の相談窓口の周知度	3
7. 高知市社会福祉協議会について	3
8. 住民の生活の困りごとへの対応	4
9. 相談を受けた具体的な困りごとの内容	5
10. 困ったときに頼る機関等	6
11. 関心のある活動	6
12. 地域福祉の取組への評価	7
13. 自由意見（抜粋）	14
14. アンケート調査票	22

1 アンケート調査の概要

- (1) 調査期間：令和5年11月～12月28日(木)
- (2) 調査対象：高知市の民生委員・児童委員
- (3) 調査人数：684人
- (4) 調査方法：調査票を地区定例会で配付し、翌月の地区定例会で回収またはWebで回答
- (5) 回答者数：572人／684人（回答率：83.6%(前回：82.6%)）

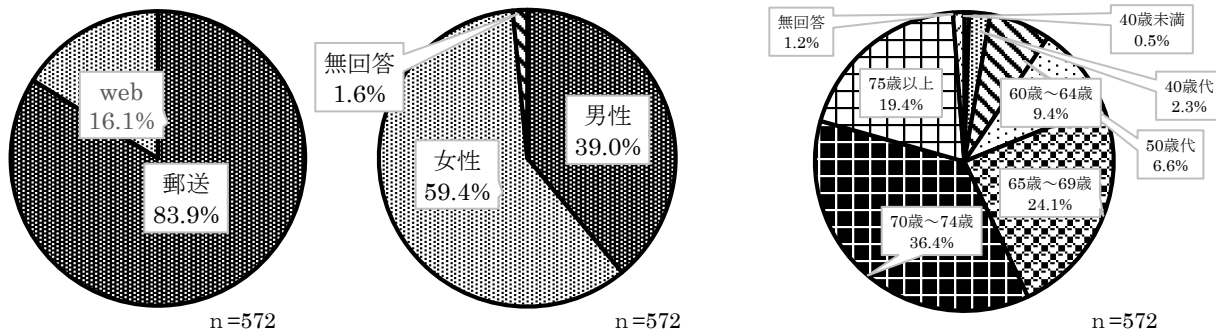
2. 回答者の概要

(1) 前回との比較

- ① 全体の回答率は、前回より微増。（+1.0%）

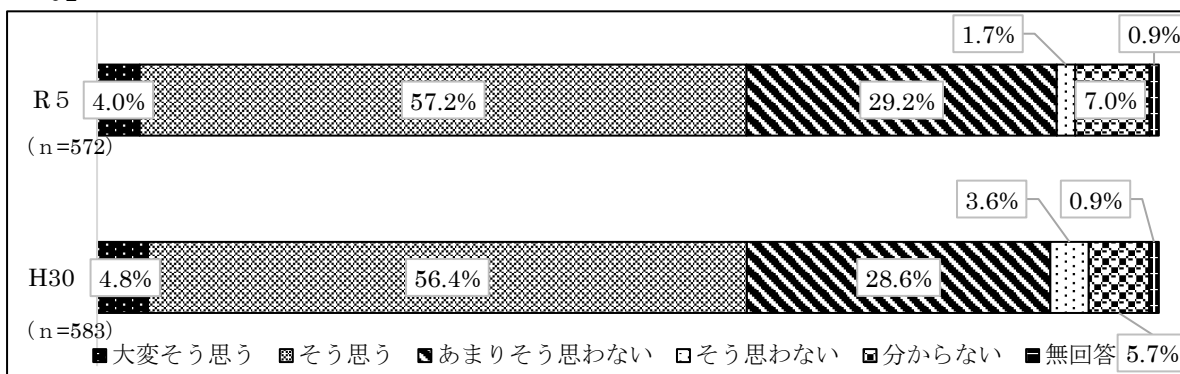
(2) 回答者 572 人の構成比

- ① 回答者のうち 16.1%が Web で回答
- ② 回答者の 6 割が女性
- ③ 年齢が上がるほど構成比が高い



3. 地域における助け合いの状況

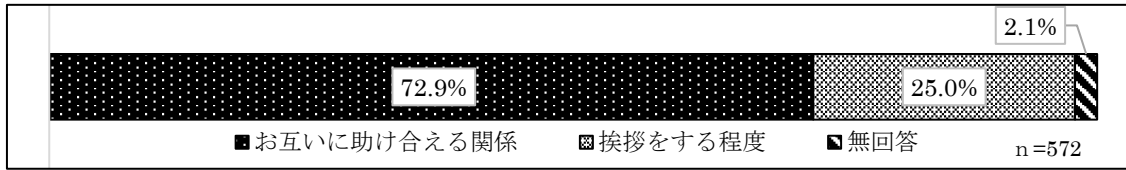
【問5 あなたの担当区域の住民は、お互いに助け合いができていますか。】



- ① 「大変そう思う」4.0%、「そう思う」57.2%であり、全体の6割程度が助け合いができていと答えている（前回と同じ割合）。

4. 地域でのつながり

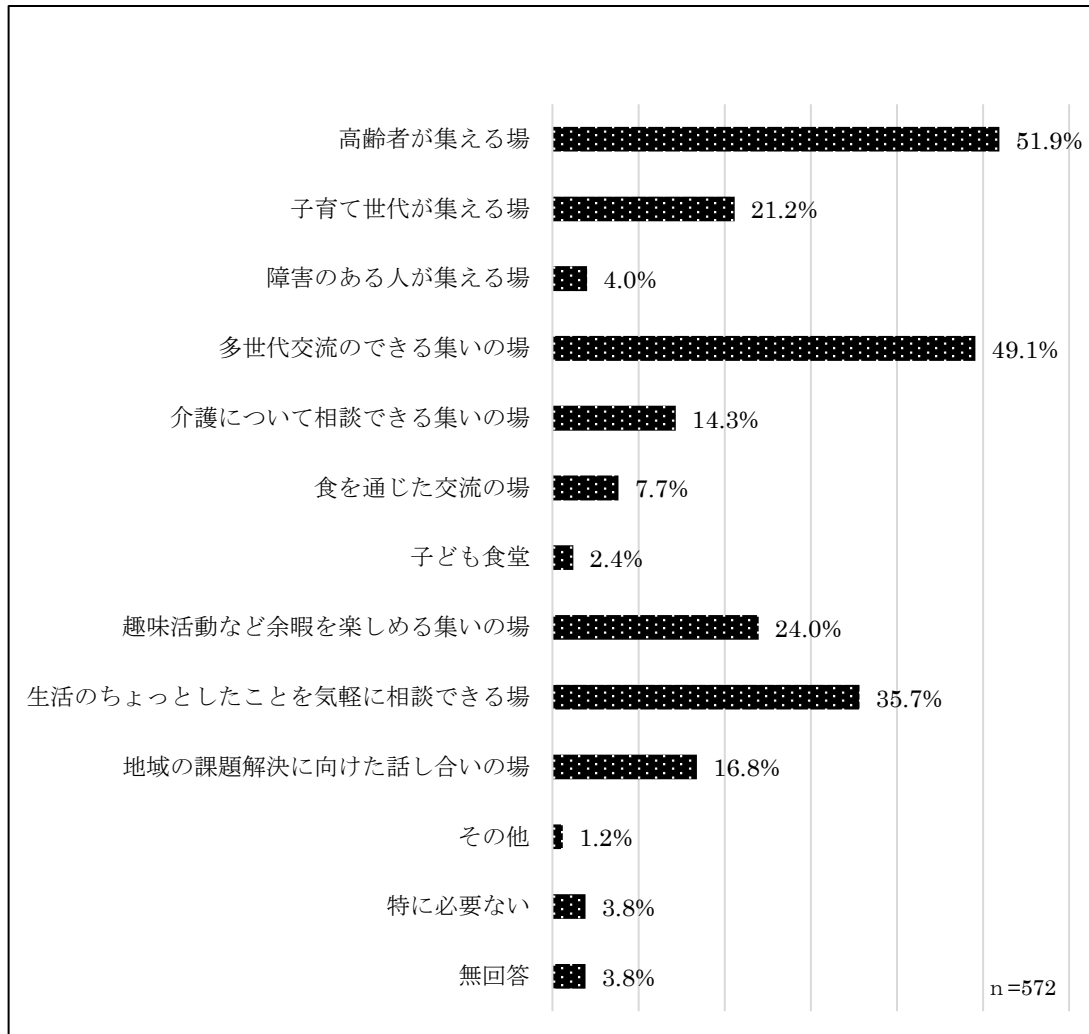
【問6 あなたの考える「地域での望ましいつながりの程度」はどれくらいですか。】



① 7割以上の方が「お互いに助け合える関係」が望ましいと回答している。

5. 集いの場に関すること

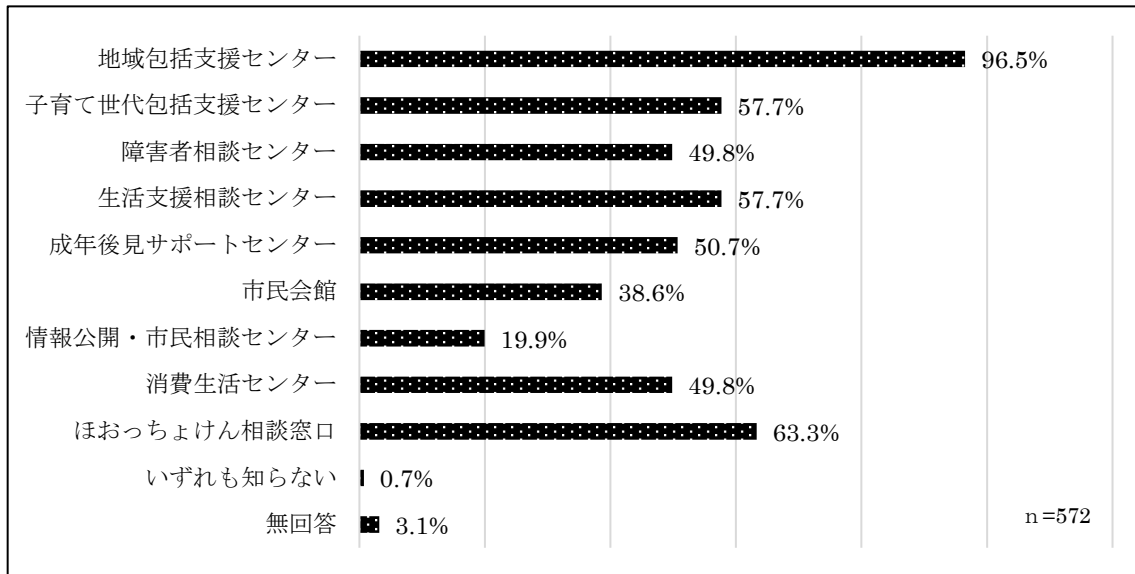
【問7 あなたの担当区域にどのような集いの場が特に必要だと思いますか。(3つ以内回答)】



① 半数程度の方は「高齢者が集える場」「多世代交流のできる集いの場」と答えている。

6. 行政等の相談窓口の周知度

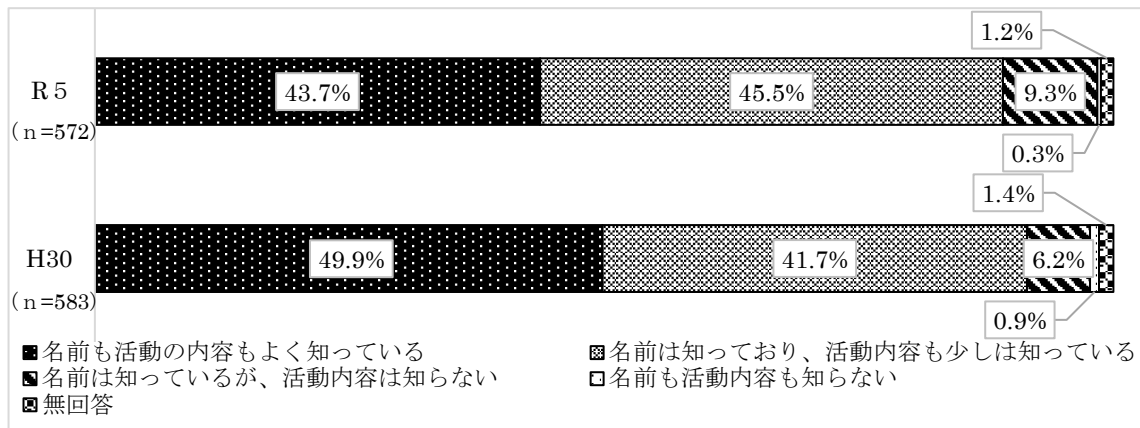
【問8 高知市が設置している生活に関する相談窓口で知っているものすべてに○をつけてください。】



- ① 「地域包括支援センター」の認知度は9割を超えている。
- ② 「ほおっちょけん相談窓口」の認知度は63.3%

7. 高知市社会福祉協議会について

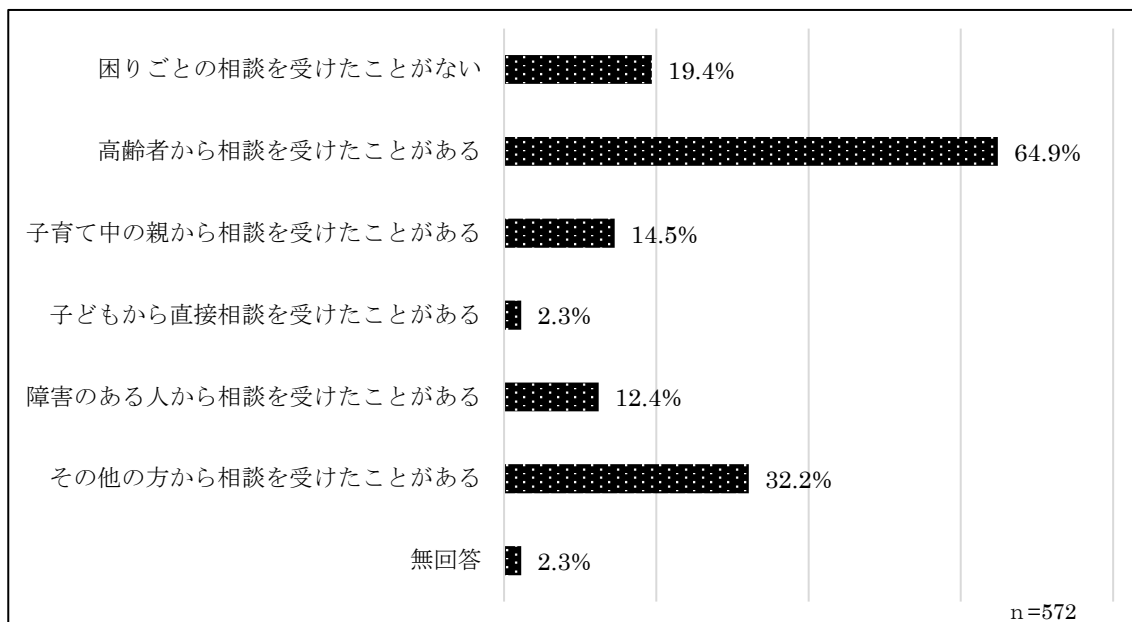
【問9 地域福祉を推進し、住民主体の地域福祉活動のお手伝いをする「高知市社会福祉協議会」があります。あなたはこの組織を知っていますか。】



- ① 「名前も活動の内容もよく知っている」と答えた人の割合が6.2ポイント減。
- ② 「名前は知っている」と答えた人の割合の合計は、98.5%で前回とほぼ同程度となっている。

8. 住民の生活の困りごとへの対応

【問 10 住民の生活の困りごとへの対応状況を教えてください。(複数回答)】

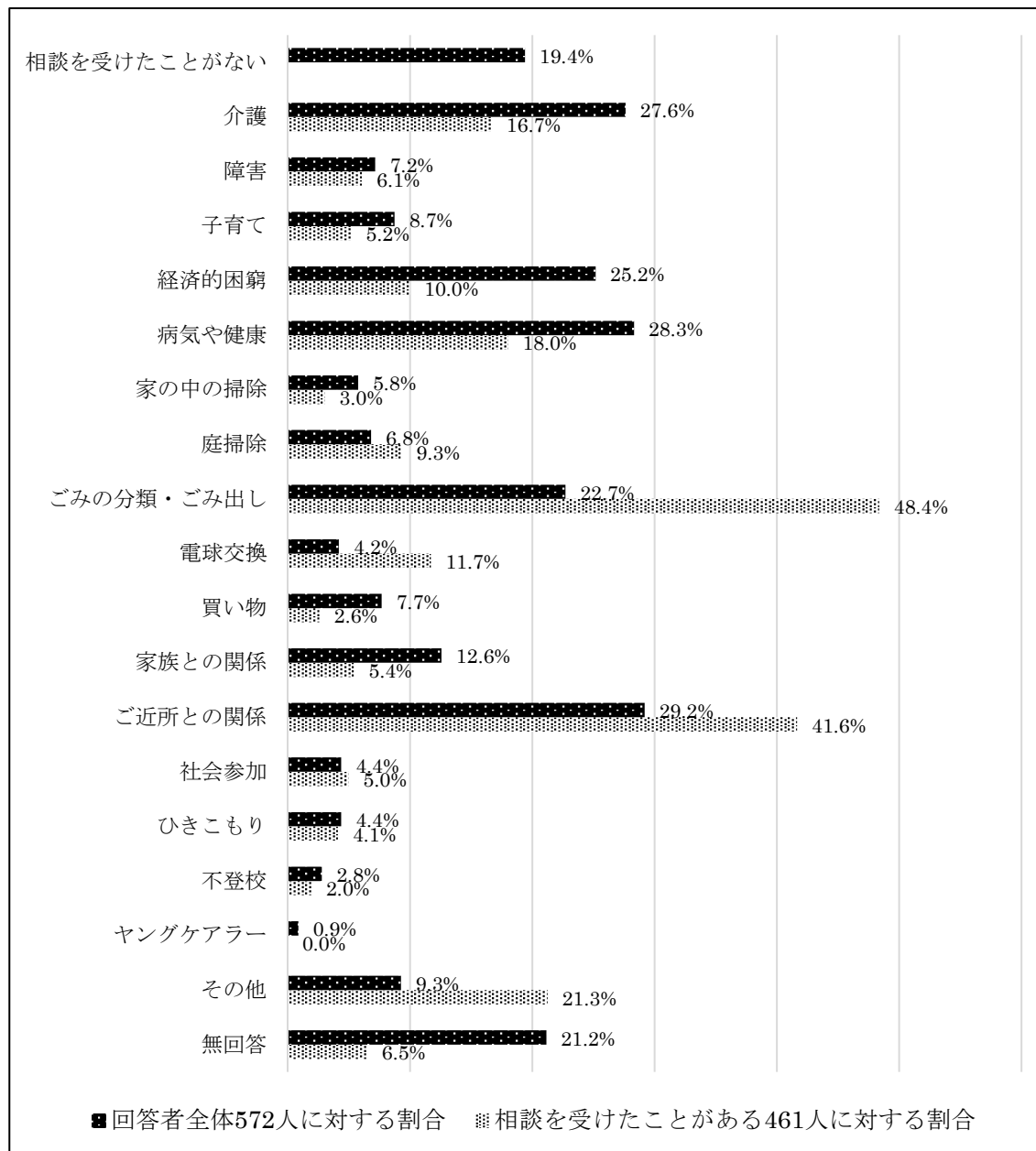


- ① 「高齢者から相談を受けたことがある」と回答した人の割合が群を抜いて多い (64.9%)。
- ② 2割程度の方は「困りごとの相談を受けたことがない」と回答している。

9. 相談を受けた具体的な困りごとの内容

【問11 問10で「相談を受けたことがある」と答えた方にお聞きします。相談を受けた具体的な生活の困りごとの内容を教えてください。

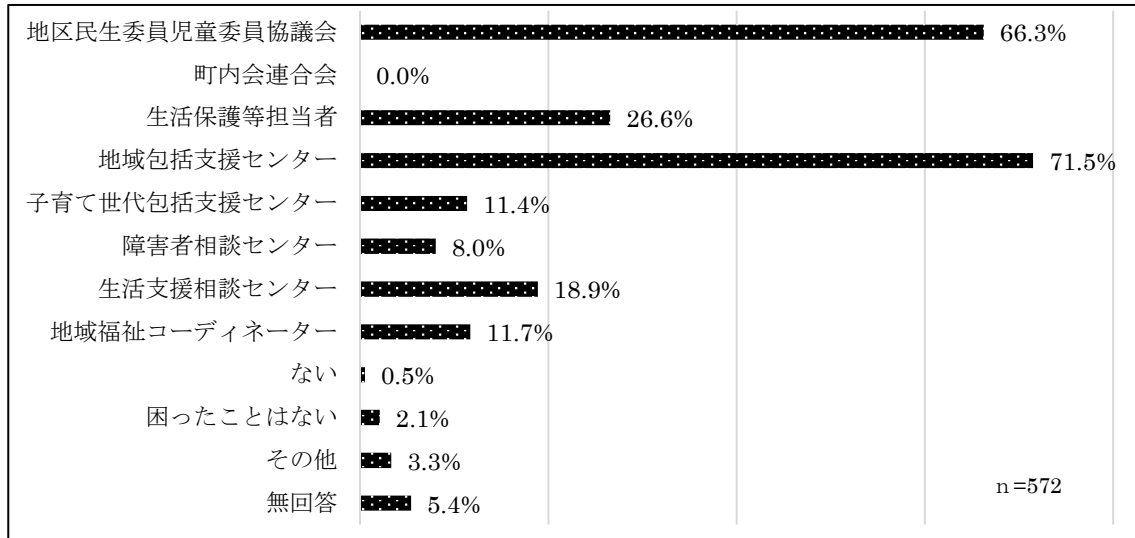
(複数回答)



- ① 相談を受けたことがある人の約半数は、「ごみの分類・ごみ出し」に関する相談を受けている。
- ② 「ご近所との関係」に関する相談も多い（41.6%）。
- ③ 「その他」の内訳は、動物に関すること（多くは猫）（8件）、空き家等の草木に関すること（7件）、道路や事故に関すること（8件）など。

10. 困ったときに頼る機関等

【問 12 住民の相談を受けて困った際に、頼る先はどこですか。(複数回答)】

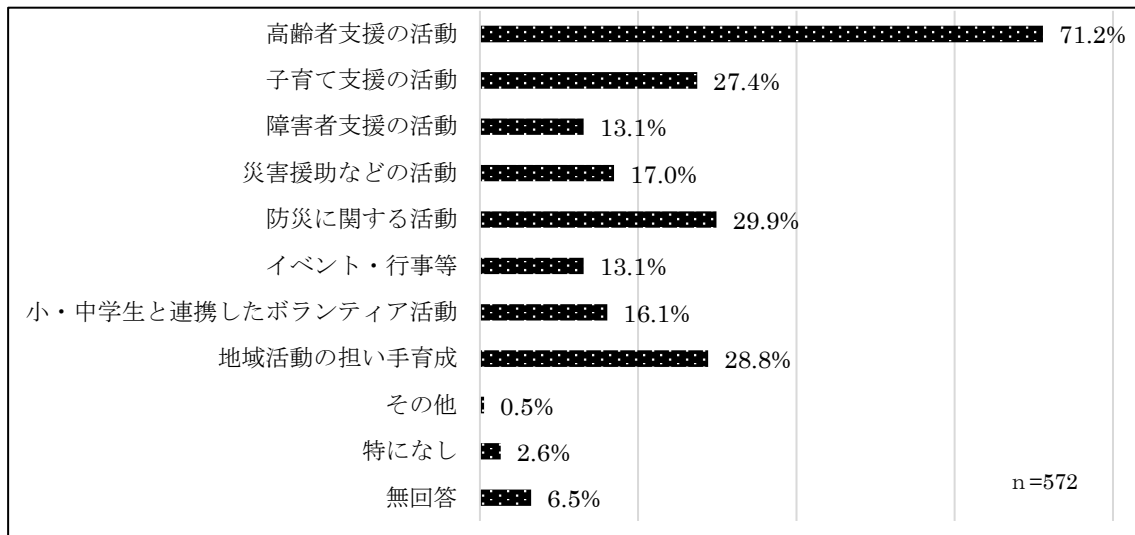


- ① 「地域包括支援センター」と「地区民生委員児童委員協議会」と答えた人の割合が高い。
- ② 「町内会連合会」と答えた人はいなかったが、「その他」の内訳として「地域の町内会長」や「町内会の役員」などと答えた人が5人いる。
- ③ 「ない」と答えた人の割合は0.5%であり、ほとんどの民生委員は、困った際に相談する先があるという結果となっている。

11. 関心のある活動

【問 13 民生委員児童委員の活動を通して関心のある活動を教えてください。

(3つ以内回答)】



- ① 「高齢者支援の活動」に関心があると答えた人の割合が群を抜いて高い。(71.2%)
- ② 「子育て支援の活動」に関心があると答えた人の割合は27.4%だった。
また、「小・中学生と連携したボランティア活動」と答えた人の割合は2割以下であり、子どもや学生関連の取組に関心がある人は少ない。
- ③ 「地域活動の担い手育成」に関心があると答えた人の割合が3割程度だった。
- ④ 「イベント・行事等」と答えた人の割合は13.1%で「障害者支援の活動」と答えた人の割合と並んで具体的な活動内容の回答の中では最も低かった。

12. 地域福祉の取組への評価

【問 14 高知市及び高知市社会福祉協議会の地域福祉の取組の評価についてお聞きします。】



① 「評価する」と答えた人の割合は66.1%で最も高かった。

【評価した理由】

(1) 「評価する」と答えた人の理由

① 地域の多様な主体がつながる仕組みづくりについて

- 着実に横のつながりは広がっていると感じる。
- 福祉活動をみなさん良くしていると思う。
- みなさん、地域の方々、それぞれお忙しい中、地域のために良く頑張っておられると思います。

② 「おたがいさま」や「ほおっちょけん」の意識につながる活動

- 実際に行事のお手伝いに参加したことがある。
- 実際に窓口の要請を受け、お手伝いしたことがある。
- 自身も生活ボランティア活動をしている。
- 今の社会で地域での人間関係、結びつきはもっとも大切だと思う。
- 大丈夫ですか？という声を掛け合える近所の関係が大切。
- 民生委員として、その取組は知っているが、まだまだ一般市民への認知度は低く自分の立場的にも足がかりとして、もっとつなげてゆかなくては。
- 困っている人の力になることや、困っている人の力になってあげられる人を増やす活動は意義のあることだと思うから。
- ほおっちょけん情報、パンフレット発行。
- ”ほおっちょけん”というキーワードがとてもなじみやすく良いと思います。
- ほおっちょけんの浸透。
- ほおっちょけんの種を子どもたちの心に植えることができている。
- 「ほおっちょけん学習」の実施をよく見聞きするようになったから。
- 小学校での、「ほおっちょけん学習」は、生徒さんや先生方に大変良い評価をいただいている。
- ほおっちょけん学習など、きめ細かな計画を立て熱意をもってやっていると思います。
- ほおっちょけん学習のサポーターフォローアップ研修が勉強になります。
- ほおっちょけん学習の実施を社協さんのご指導のもと進めてまいりましたが、児童との繋がり、ほおっちょけん思いやりの気持ちを共に学ぶことが出来て、地域と学校を結ぶ役割もして下さって感謝しています。
- ほおっちょけん学習に参加している。
- ほおっちょけん学習に参加して（保育園、小学校）必要性を感じたから。
- 小学校でのほおっちょけん学習会や認知症サポーター養成講座、ボランティアの募集などの取り組み

- 地域コーディネーターとともにほおっちょけん学習等を通じて、民生児童委員それぞれが共通認識を持てるようになったと思う。
- ほおっちょけん学習は、積極的で見える活動をしている。
- ほおっちょけん学習で、今まで気が付かなかった事に少しでも気づける様になって貰いたいし、なりたい。
- ほおっちょけん学習に参加しています。子供達、みんな、素直に聞いてくれます。高齢者、お友達、家族にたいしてほおっちょけんの気持ちが出て、一日一日が楽しく、過ごせる様に全員が、なる事を望みます。ほおっちょけん学習は素晴らしい取組だと思う。

③地域活動につながる多様な交流の機会づくり、多様な社会活動の仕組みづくりについて

- 百歳体操なども、その一つではないかと思う。
- 高齢者を含め様々な活動に参加できる機会と知識が増えてきた。
- 子育てサロン等、前向きに進めている所。

④地域や福祉の担い手づくり

- 生活支援ボランティアの育成に尽力されている。
- 生活支援ボランティアは、とても評価します。
- 住人が参加している者が多い。
- 地域での活動する時に力を貸して頂ける。
- 地域ボランティア活動のたびに福祉協議会の面々の方々にお会いし、市民の暮らしに耳を傾けている様子が分かります。活動内容も実行して頂いています。
- 安定した暮らしを支援する制度やボランティア。

⑤つながりのある相談支援体制の構築について

- ほおっちょけん活動は徐々に浸透しつつあり、そのネームバリューから相談する人も増えつつあると感じる。
- 「ほおっちょけん相談窓口」の設置や「生活支援ボランティア」の養成等。
- ほうちょけん相談窓口等、利用している人がいると聞いている。
- 何でも相談できる、ほおっちょけん相談窓口の設置はよいと思う。
- 成果が上がっているかは別として、ほおっちょけん窓口などで住民の誰も取り残されないような取り組みを始めている。
- ほおっちょけん相談窓口を薬局などにも拡大した事。
- まだまだ住民の皆さんに浸透不足かもしれませんが、ほおっちょけん相談窓口はこれからも皆さんの助けになっていくのではないかと思います。
- 気軽に相談できる窓口が増えていっていると感じます。
- 個々への支援を行なおうと努力しているのがわかる。また、ほおっちょけん相談窓口など評価できる。
- 相談窓口の設置は市民にとって心強いと思う。
- いろいろな相談ができる場が増えている。
- 様々な相談窓口があれば良い。
- 相談できる窓口があれば、心強いと思います。一人暮らしの方は、けっこういらっしゃるので。
- 相談窓口があることは心強く、助かる。

- 住民の相談窓口が民生委員に限らず複数あることは住民にとって相談しやすい環境になっている。
- 相談窓口が多岐に渡り存在することは良い。
- 住民にとって身近なところに相談窓口がある。
- 誰にでもわかる窓口であることが重要と考えるから。
- 気軽に相談できる体制が出来ている。
- 相談内容により、いろいろ情報が得られた点。
- 直接関係した事はないが、定例の時に種々の活動状況を聞いている。困った時には社協に相談すれば良いと、心の支えになってくれている。
- 特に高齢者支援の際、地域包括支援センターへ相談できるので、助かっている。
- 独居老人に関して支援センターの方の協力有り。
- 包括センターなどに問い合わせの電話をした時など丁寧に対応して下さいます。
- 困りごとがあればセンターへ連絡しすぐ処理できる。
- 困った人がいましたが、解決してくれた。
- 困ってる人達の手助けに貢献してるので。
- 住民の困り事に対応していると思う。
- 少しでも困っている方、悩みを抱えている方、それぞれ状況に違いがある中で寄り添う気持ちや活動です。
- 様々なニーズに対応する人材や場所があるのは良いことだと思う。
- 親身になって相談にのってくれると思います。
- 身近で親身に相談にのってくれるから。
- 相談に真剣に取り組んで対応してくれる。対応が早い。
- 相談をすると直ぐに対応してくれる。
- よく相談させてもらっている。
- 相談をして解決した。
- 悩みや困り事の相談があった時に的確なアドバイスや窓口への案内が出来ると思います。
- 相談できる場所があるということが浸透している。
- 地域に密着した取り組みが住民の相談にも早く対応できる。
- 成果は目に見えて来てないが、制度が出来、相談する所がわかりやすくなったと思う。
- 生活支援センターや、社会福祉協議会の方々が福祉の活動に参加して下さったり、地域でどのような困り事があるのか様々な活動を通して情報を集めておられるから。
- 災害、困った時のかけこみ寺的な場所の設置。

⑥地域共生社会の実現のための体制基盤強化について～市社協・市の役割の明確化及び機能強化～

- 高知市社協はこの10年ぐらい前から大きく進化した、目を見張るものがある。地域への積極的なかわりがみられる中で、経営幹部のリーダーシップや職員個々の問題意識、豊かな創造性を育む土壌が確実に形成されている結果だと思う。引き続きの活躍を期待する。一方高知市役所はどうか。一生懸命仕事をしているだろうが部局内、他部局との連携、調整が十分であろうか。その資質を十分に発揮できているか少し疑問に思うし、市役所全体が「地域共生社会の実現」に向けた取り組みをしているのか私どもには十分と見えない状況でもある。有能で高度の知識を持った職員も多数いると思うことから今後の対応に期待したい。
- 地域福祉の様々な取組にむかって進めているので。
- 地域福祉の充実に向けた取り組みは、民生委員は多いに助かっている。

- 地域福祉活動に大変協力をして頂いている。
- 地域に周知し、出向いている事。
- 様々な場で見かける。
- 各地域でのいろいろな活動を実施している。
- 各地域の特性や状況に応じた活動や支援をしてもらっている。
- きめ細かい活動をされていることが伝わってくる。
- きめ細かく対応できるようになっていると思う。
- すぐに活動してくれる。
- スピード感を持った丁寧な対応に感謝致します。
- どんな人も別け隔てなく、地域住民の困りごとや悩みを親身になって解決しようと努力されているから。
- 福祉的支援の成果が感じられるようになった。
- 年々支援体制を充実させていることを評価しています。
- 色々と市民に寄り添う活動を工夫していると評価できるので。
- 市社協で働いている人達を知っているから（仕事を頑張っている姿）。
- まだまだ途中段階ではあるが、市社協の職員さんはよくやってくれていると感じる。
- 市社協の職員さんは、本当によくやってくれていると思う。
- 私はいろんな所へ出向いて行きますが防災訓練、炊出し、こども食堂、夏祭り地区の高齢者のウォークその他…社協さん日曜はでも家庭があるのに見に来てくれます。本当にありがとうございます。
- 社協の方がいろいろな取り組みをしている姿を見ているから。
- 社協の方々の真摯な活動に頭が下がります。
- 色々な取り組みに皆が夜昼とわず、一生懸命に取り組んで下さっている点です。これからもよろしくお願いします。
- いろいろのところに顔を出し、参加している。
- 親切な職員の集団。
- 積極的に地域に関わろう関わろうとしている職員さんの努力を感じる。
- 担当の方が一生懸命やっているのを見て。
- 担当者は頑張っていると思います。
- 地域と連携していろいろな活動を一緒に取り組んでいる。担当者も（異動はあるが）皆さん、明るく、仕事熱心で、頼りになります。
- 日々一生懸命頑張っていらっしゃると思うから。
- 目先ではなく、その人の立場に立って頑張っている。
- 頑張っている姿を見て。
- 目的意識を持って丁寧な活動をしている。
- 質問等に丁寧に答えて下さり、対応も早いです。
- 対応が迅速で最後までフォローしてくれた。
- 近所付き合いが少なくなっている今、頼りになる。
- 地域活動にも参加され、地域との繋がりがはっきりできていると感じる。
- 地域で関わりがもてる活動がなされていることがわかる。
- 地域に根ざした活動をしている。
- 地域の中に入りこんで来ているのが見えたから。
- 地域のためのいろいろな新しい取り組み。

- 暮らしやすい地域づくりをコンセプトに活動していただき、いろんな取組が目に見えてきている。
- 姿勢を良きことと感じます。
- それぞれに関わる人達がいろんな企画をたてて行動しているのにはとても良い事だと思っています。
- 意欲的な活動が目に見える形で行われている。
- 基礎自治体でやるべきことをやる、意志を感じるの。
- 結果が目に見える訳ではないが、積極的に取り組みをしているのがわかるから。
- 幅広い方に支援できるよう、いろいろな活動をしているのを評価する。
- 公に頑張っている活動されているから。
- 地域の住民のために、福祉施策の企画立案、立ち上げをし、実施していることを評価します。
- 地域共生社会の実現のために、例にあります様な取り組みを行って下さっているところが、大変有り難く評価いたしております。
- 福祉に関する、組織として余人をもって代え難し。
- 市の取り組み、運動のきっかけ。

⑦地域福祉コーディネーター配置について

- コーディネーターが地域で頑張ってくれている。
- コーディネーターの方が、学校や地域のイベントや活動に進んで参加している姿をよく見かけます。
- 地域福祉コーディネーターが地域の情報を把握し対応してくれている。
- 地域福祉コーディネーターが中心に活動ができている。
- 過去にあった地域住民の支援活動実績。
- 各地区に相談できるコーディネーターの方や窓口があるのは心強い。

⑧その他

- 見える化が進んで来ている。
- よく耳にするから。
- よく目にする機会がある。
- 活動状況を知っている。
- 活動の内容を理解しているから。
- 社会福祉協議会の活動内容を知っているから。
- 職員さんによる積極的な取り組みを知ることが出来るから評価しました。
- 新聞にのったり、良い活動が聞かれる。
- あくまでも総合評価です。個々には○もあれば×もある。
- これからの地域社会に必要なだから。
- 自分自身、家族のことを考えると、このような機関の活動は必要だと思う。
- ティサービス（家族）利用でとても良かったので評価します。
- 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるため。
- 回答にならないですが繰り返し繰り返し続けてください。これだけは大事と思う基本、思いやり、他者への配慮、等色々やっているとします。
- 行政指導等によりいろいろな制度体制は出来つつあるがまだ細部にいき届いていない面が多々ある。
- 今後も頑張ってください。
- 制度として、存在していることは良いと思います。十分生かされているか、住民のかゆい所に手が届けるよう今後ますますの充実を期待しています。

- 南浦公民館の改装や浦戸の夏祭り等の活動。
- 敬老会の開催。
- それぞれの場で効果がでていていると思います。
- ゆっくりだけど、着実に出来てきていると思うから。
- よく活動している。
- よく取り組んでいると思います。
- 活動する組織がある事。
- 定例会でいつも聞いててすばらしいと思う。
- 定例会で活動報告を聞いて。
- 毎月、定例会に出席し、活動内容について説明している。
- 毎月の活動報告時に報告をお知らせ頂きました。
- 月1回の定例会の時に詳しく説明して頂いています。
- 民生委員の定例会にて活動の報告を聞いている。
- いろいろな活動の状況の説明を聞く機会があるので、がんばっていることがわかる。
- いろいろ活動などを報告、聞いたりしています。現場の大変さも理解したいと思います。
- 63回福祉大会シンポジウムの事例発表とても勉強になりました。
- まだ過渡期かなと考える。
- まだ十分とはいえないが、いろいろと工夫して活動している姿が見える。
- よく活動されていると思います。ただ地域により浸透度に差があるように感じます。
- 評価はしますが、自分が実際にそのような事例もないから分からない。

(2)「評価しない」と答えた人の理由

- 周知が行き渡っていない(自分も含めて)。実際に取り組んでいるところがどのくらいあるのだろうか？。
- 市民が周知するに到っていないと思うから。
- 世話をする住民の負担が増している。家庭、家族の問題を地域に肩代わりさせる政策のように感じる。本来ボランティアはそれを行う者が満足し、達成感を味わって成り立つものであるが、これを地域の者に背負わせようとしているように感じられる。
- 窓口は作るが働かない。定年役人のおあそびと役人の子分作りに税を使うな。
- 町内の高齢化、担い手の不足を高知市は認識しているのかわからない。機能しているのかもわからないです。

(3)「分からない」と答えた人の理由

①関わり等がなかった

- 今まで、相談する事業がなかったため。
- 関わる事が無いから。
- 直接関わることはない。
- 直接社協の活動に関わった事がないので。
- 直接取り組みを見ていないのでよくわからない。
- 評価するが、直接その活動にまだ出会えていないので。
- 現状を見ていない為。
- まだ利用したことがないので。

- 実際に利用したことがないのでわかりません。

②取組周知が不十分

- 活動他，取り組み状況を町内会等に知らせていないのでは？
- 実際の活動内容について周知されていないので。
- 取組内容が，行政内部にとどまり市民に周知されていない。
- 活動内容がよくわからない。
- 地区の住民が，知っているか，どのくらいの人達が相談しているのかが，わからない。
- 活動の内容が十分に把握していないので分からない
- 身近な関係で，具体的にお世話になった方が少なく理解不足です。
- 様々な施策をして下さっているが，まだ自分では活用できていないと感じる為。
- 身近に感じたことがない（見たり・聞いたり）。
- 取組は素晴らしいと思いますが目に見えての状況がどうなのかなと思います。
- よく分からない。
- 通り一遍の活動しか見えない。
- 活動が見えない（地域として）。
- 目に見えない。活動が良くみえない為。
- 具体的な活動が見えてこない。
- 具体的な，活動状況がわからない。
- 具体的な結果を承知していないから。
- 具体的な効果が分からない。
- 具体的な事がない。
- 具体的な事例，対処についてアピールしてほしい。
- 具体的な取り組みの成果が見えない。
- 高知市地域福祉活動推進計画自体を知らないのでは。
- 特に実感できる共感できることがなかった。
- 実感がまだない。
- 例示にあるように市，市社協の努力は認めますが，果たしてどれだけ実効性があったのか確認できないため。
- 実績が不明。
- 実績を実感しておらないので。
- 自分がおの場に行っていないのでよくわからない。
- 自分自身参加の機会を持たず，内容を担当区域の人々に伝える事が出来てないため。
- 町内の住民としては身近に感じない。
- あまり良く分からない・知らない為。
- まだ知らないことが多いので。
- あまり事例がない。
- 取り組み自体は良いことと思いますが，それによって可能になった事とか，成果を知ることが出来ていないように思います。
- 成果がわからない。
- 各種の取組を受け止める地域住民は増加しているのか？。
- 地域の人々の声が聞こえてこない。

- 説明は受けたけど、それぞれの分野の連携が、どうなのか、スムーズに行えているのか、どういう成果があったか、とかを流れを通じて学ぶことができたなら、自分もこういうことか、と思えるのかかもしれないし、自分のポジションも見えて動きやすい（関わりやすくなる）のかかもしれないと思った。
- 定例会等で短時間説明を受ける程度なので。
- 相談等をしたことがないので。
- どこまで関心もって自分ごととして考えてくれるのか。
- ほおっちょけん相談窓口だけは知ってます。
- 連絡先が不明。
- 内容が把握できていない。
- 設置、配置、実施は行政の事であり、末端まで理解されているのか疑問に思う。

③民生委員の経験が浅いため

- 民生委員になって、まだ一年経ってないのでまだ実態が掴めていない。
- 民生委員になって一年未満の為、詳しく理解できていない。
- 民生委員になって間もない為。
- 民生委員となってから日が、浅くまだ関わりがない。
- 民生委員を始めて、まだ右も左も分からないから。
- 経験も浅く認識不足です。
- まだ新人の為、理解しきれていない。
- まだ民生委員になったばかりで、よく分からない。
- 今年の途中から携わったからです。

④その他

- もう少し勉強して解答したいため。
- 初めて耳にした場所です。
- 申請主義で上からの支援は、本当に困っている人には難しい。
- 民生委員児童委員を頼りすぎているように思います。
- 包括センターにてすべて相談してるから。
- 包括支援センターと社協、どちらも同じ活動をしている。どちらも評価したい。反面、どちらのどの部分を担っているのか分からない。
- 一部の地域では住民の活動が、施策やコーディネーターの活躍によって活性化したかも知れませんが、広がり、ほとんど感じられないように思います。
- 当方の勉強不足。

14. 自由意見（抜粋）

【問 15 地域福祉のあり方などについて、自由に意見をお書きください。】

①集まる場や交流の場

- 団地の中に、集会所がないので、いろいろな事ができない面が有り、いつも何とかならないかと考えている。
- 活動歴は8ヶ月ですが、今時点で気づいたこと。①どこまで踏み込んでよいかわからない。②80

才以上の高齢者は悪くなるのも速く、この8ヶ月で3名ほど施設入居者が出た。大半はその人の娘が世話をしているが、苦勞があるように見うける。③とりあえず誰かが集まれる場所があれば!と思います。

- 我々が活動する事も大事だが、町内会活動が活性化する事が必要である。町内会が活性化という事は、住民の交流、参加が盛んだという事であろう。活性化する事を町内会役員と話しあっているが中々うまくいかない。成功している事例等を流布してほしい。
- 人は、挨拶から始まることにより、お話が出来る様になると思います。少しずつ輪を広げていけたらと思います。
- 私の担当地区は新興住宅地で、住人の昔からの繋がりがありません。団地は山の上であり移動手段は殆どが車ですので、誰かと出会う事も難しい毎日です。それでも住人が若いうちは、いろいろな活動で繋がりもあった事と思いますが、住人も高齢化して来た今、介護の車も多く見られるようになりました。車にも乗れなくなった時、歩いていける所で交流する場所が必要だと思います。身近な場所での生活地域コーディネーターの活動に期待しています!
- 住民のいろいろな声が聞ける交流の場所や機会がもっとあれば、見守りや支え合いに繋がるのではと感じます。「生活支援ボランティア」養成は地域の困りごとの解決になり、この様な支え合いや支援の和が広がっていく事で孤立する方々が減少すれば良いなと思います。
- 住民同士の交流が良ければ、民生委員児童委員への、地域からの情報がより早く伝わってくるので、住民の日常生活の交流を大切にしたい。
- コロナ感染拡大から、地域の行事がいくつか中止になったままで、交流が減ってきています。前にもあった多世代の交流の場があれば、住民同士の親睦もはかれるんじゃないかと思います。
- 高齢者と未就学児の接点、関わりを多くする取組、場所があればいいと思います。
- 自分自身が他人と深くまでつきあうとは思わないので、地域の方々とどこまでつきあえばいいのかわからない。
- やはり、出かける場所がある方がよいと思う。交流し合って、元気にすごすために、そういう場所が必要だと思う。
- 敬老会の招待状を渡すときに、高齢の方と話す機会が持てたけれど普段はあまり持てない方もいます。プライバシーとの関係が難しいです。
- 個人情報等の問題等で深く聞けないことがある。
- 高齢者が歩いて集まれる場所。遠い場所は集まれない。介護、支援の1くらいなら支援センターに通うのが週1しか行けない。それならもっとコミュニティの場所を増やして欲しいと感じる。ひきこもり老人が多い。
- 地域には、まだ能力がありながら助け合う場所にでて来てない人がいると思うので、参加しやすい場所づくりが必要と感じます。

②地域での関わりやつながり

- 困っている人が『助けて』と言えるようになって、それを世代を超えてみんな（地域）で支えあえる社会になること。福祉、福祉と、声高に叫ぶことなく、普段の生活の中に、当然のごとく、挨拶し、自分のテリトリーを、1.1倍～1.2倍に出来る、お互い様の生活の場であれば、福祉と改まる必要もなく、自分の身内と変わらない感情が根付くと考えます。
- 「助け合う」ことを否定する人はいないと思います。しかし、地域の実情にあったものでなければ歪みが生じ機能しなくなります。地域は人間関係で成り立っています。それを育む福祉でなければならないと考えます。

- 地域の人や社会のために尽くしたいと活動している人の高齢化，活動している人があれもこれもと兼任していることを心配しています。ほおっちょけんやボランティアの精神のない人が多く，自分ファーストな人が多いことを悲しく思います。
- 近年は個人情報とやらで，誰が何をしているか，個人の電話番号など気軽に聞けなくなりました。高齢者が住む家の両隣の方の携帯番号などは知っておいた方が良いと思っけてます。日頃のおつき合いが大事だと思うのですが，若い人には理解してもらえないところもあります。
- 住んでいる住民一人一人が，住んでいる部落の事に，関心をもって，他人事じゃなく自分の事として受け止めて過ごして欲しい。
- 近所の若者があまり挨拶をしない。近所の 高齢者の方が救急車で運ばれたが詳しくは内容は知らない。情報不足で地域とのつながりが薄い。このようなことのない地域社会を作りたい。
- 若い方に頼るだけでなく，お年寄り同士の繋がりも深め助け合っていく必要があると思います。
- 町内会など地域団体と各家庭の繋がりを強く広くすることが必要。
- なるべくなら生活保護に頼らなくてもよい福祉を目指して，明るく地域と福祉とのつながりを深めていきたいと思っけてます。
- 限られた範囲での連携，協力。難しい問題は山積しますが，一人一人の繋がり，頑張りでも助かる方がいれば次の世代にバトンタッチできると思っけてます。
- 少子高齢化が進むにつれ，住民一人一人が住みにくさを感じている人を発見できなかつたり，地域内での見守り活動が困難になることを危惧します。互いに助け合える地域にするために，住民の意識を高めて行く事が，もっと大切になる時代が来たと思っけてます。これからも民生委員も無理せずに日々できることを考えていきたいと思っけてます。その為にも行政側も誰もが相談しやすいように，どの窓口でも繋がるよう他人事と捉えずに，1人の住民を徹底して大切にすることを共通意識として捉えていくよう，願っけてます。
- 地域の住民誰もが自分の考えや行動を自由に発信でき，お互いに他の人を尊重しあい，思いやれる地域になること。
- 自身のプライドに関わるせいか，相談しない人が多いように思うが，福祉をうけることは恥ずべきことではないということを知らせる方向に持っけていけたらいいと思っけてます。
- 先ずは，困っている人を見つけ出す事。それには，日々の挨拶などを通じて，その方々が安心信頼して話してくれる迄，信頼関係を築く事。日々の関わりが一番大切だと思っけてます。
- 寄り添うことをボランティアに過大な負担をかけないように，無理のない活動を旨とし，バーベキュー，テニス，将棋，音楽等遊びができる場所の提供等，肩の張らない福祉活動が大切。
- 必要ではあるが，あまり管理的やおしつけになつては，どうかと思っけてます。
- 自分がしてほしい，して頂くとうれしいと感じることがあれば，してさしあげたいと思っけてます。
- 活動している人が一部に限られているため，なかなか広がりを持たないのでは？。
- 末端で活動する人の負担の軽減を考慮した体制づくり。
- 地域包括支援センターの指導のもと，少しずつ活動をしている状況です。
- 高齢化が進みこの先どうなっていくのか不安である。みんなで助け合い支え合っけてやっけて行かなければならないと思っけてます。大掛かりな事ではなく気軽に取組める活動が出来ればいいと思っけてます。
- 住民の協力態勢はほぼ出来ていますが，一人も見逃す事のない様，きめ細やかな地域福祉活動が出来ればいいと思っけてます。問題が起つた時には迅速に対応してはいますが（してもらつてます）解決も迅速に出来ればいいと思っけてます。
- コロナで3年間活動中止となり，今まで交流のある方とも疎遠になり，もともにもどるのがなかなか難しい現状となつており，また時間をかけて元にもどす様，協力していききたいと思っけてます。

- 行事などがコロナで中止になっていたため、以前のように開催するのが難しくなっています。受け継いでないのだからわからないという人が多く地域が淋しいということになっています。このことも地域福祉に関係しているのではと思って手段がわからないので困ります。
- コロナの状況も落ち着いてきていることから、今後積極的にコミュニケーション活動を活性化するように、取り組んでいきたい。まず、それからだと考えています。
- 地域福祉の活動について、まず皆に具体的に知ってもらえるような取り組みが必要だと思う。
- 福祉の各種制度やサービスを知らない方が多いのでは…。これからは高齢者が益々多くなる中、健康寿命を伸ばす地域住民での活動等、指導をお願いします。みんなが元気で住民どうし支えあい、居場所づくり等の結果、医療費の抑制につながる。
- 個人では、なかなか取り組みが難しい。チームを地区ごとに作り、訪問活とか、相談活動ができないか。
- 地域にもっと関わることが第一と思う。
- 昔ながらのお付き合いが出来れば良いのですが、オートロックマンションに代表される内輪のみの交際範囲が好まれるこのごろの風潮が地域福祉を疎外しているように思えてなりません。行政からは地域住民の繋がりを民生委員が積極的に繋げて欲しいと言われますが、行政からも繋がりを持たせられるアクションがあっても良いのではないだろうか？と思われるこのごろ、地域のこれからのをどうして行ったら良いのか官民合わせて考えて行けたらなと思います。
- どんな小さな事柄でも、話し合える近所での活動が一番大切であると思います。最近の人はあまり話がない様に見える。
- 独居者に対する、調査を深くすること。
- 高齢者社会で1人世帯が多くなり、相談相手等話の出来る人が少なくなっている。地域で見守る様に組織を強化したい。
- 昔から住んでいる人と、新たに居住して来た人とのコミュニティがもう一つ。町内会自治会がいくつかあり、横のつながりが無い（昭和系）があるため、線引きが難しい。
- 老若男女、世代を問わず、どうやったら、みんな楽しく参加できるコミュニティが実現できるか？そのことを模索しながら、微力ながら活動させていただいております。
- 2030年以降は、高齢者が多くなりますので、支援をされる方がいるか心配しています。高齢者が、いきいきと生活できる幸福を感じられるように支援していきたい。子供が少なくなっていますので、地域全体で子供の心の育成を図って参りたいと思います。
- 困っている方が、気兼ねなく相談しやすい環境づくりが必要だと思います。ひとりぼっちをつくらない、周りに息苦しさを感じている人がいないか、話しやすいコミュニティづくりをめざしたい。
- 本当に困っている人を見つけ出し、寄り添い続ける支援は難しい。もっと地域活動に参加しないと（しても参加しない住民の姿は見えないが）実像は見えないかと思う。
- 困っている方を把握する事から始まると思います。困っていても伝える方法が解らない方が居るのでは？と、アンテナを張っていますが、自分で解かる範囲では、一部なので気がかりです。
- 社会生活が複雑化し、課題も多岐に渡っており一朝一夕に解決するものが少なく、いろいろの立場からアプローチする必要を感じる。民生委員児童委員に要請される事項が多いが、専門家への橋渡し役に徹するしか方法がないと思われる。ただ住民が相談の必要な方に限って相談してくれない傾向が強く、また隠しているため発見することが困難となっている。
- 民生委員・福祉員・おせっかいやさんなどが、地域住民と常にフランクにお付き合いの出来る日常を作っておけば、おのずと、地域福祉のあり方が見えてくると思われる。ということで、民生委員等が誰からも慕われる、相談しやすい人間性を磨くことから始めるべきと自戒しつつこれから少し

ずつでも努力していきます。

- 常に住民の相談相手となり、助言を行えるように、自分の地域の問題や課題を把握できるようにアンテナを張り巡らせておきます。
- 住民だれもが困った時に相談できる人が家族以外に1人以上いるという地域。
- 地域の関係者、行政の方との連絡調整→すべての面で相談する場所がない。行政側として解っているのか。平成26..27年より前市長、関係者とは数回連絡調整して、実現について相談している。現在は工事がストップのままである。連絡なし。
- 自分の担当している地域にも困っている人はいると思いますが、その人は名乗り出てきません。仮にその人を見つけ出して「あなた、困っているでしょう」とは言えないですから実際は難しい問題です。先は民生委員は誰か、支援センター、相談窓口も知らない人もいるので自分を含め、広報活動していくのが大事だと思います。
- 50代、60代の方の困り事のある人が、誰に相談したらいいのかわからない人がいる様です。誰か（地域の人）が民生委員さんに聞いたらいいいよと言ってくれたそうです。
- ワン・ストップでの相談が実現した時に、画期的だと思った。いちばん欲していたことが始まったと！。今でも、法にうまく乗れない案件がたくさんあり、あきらめることも多いと思う（一般庶民は）。

③福祉教育の推進や地域福祉活動等の周知

- 一般（当該者でない方）の方は、それほど「地域福祉」に関心を持つ機会は少ないと思います。身近に感じていただくには、それなりの工夫がいると思います。
- 活動内容が、もっとわかりやすくしてほしい。
- 地域福祉という何となく、わかりにくいので具体的な活動等、お聞きすることがあれば、より理解が進むのではないかと考えています。
- 地元の人々への広報活動が必要。
- 各地域で取り組んで、また事例を知らせてもらえればありがたい。町内会 役員等に知らせる事で、問題意識も高まり、課題解決に向けて取り組みのヒントとなる。
- 地域福祉に関心のある次世代がいないのが悩みである。
- 農耕民族である日本人社会は昔から地域福祉、共生社会に近い形態は存在していたと思う。しかしながら戦後の経済復興やそれに続く高度経済成長に大都市や工業地帯へ労働力の供給として農山村部等、地方から大量の人間が流出した。これらのことから中山間部では徐々に共同社会としての機能が崩壊してきた。経済成長の中で所得が増え、大量生産、大量消費時代を向え価値感が変化し、高学歴指向となり、持ち家世帯が増大し、核家族化が進行した。我々の先人達や我々が好むと好まざるにかかわらず戦後80年近く、どっぷりとつかり甘んじてきたのである。その為にも地域福祉、共生社会構築に向けた幼少期からの福祉教育が大切である。全ての領域で福祉教育を中核とした教育改革を断行しなければならぬと思う。一足跳び急激な変化は難しい。長期的スパンでコツコツと地に足を付けて進めていこうではないか。
- 地域福祉と一口に言っても、多種多様であるのであり方を書くのは難しい。私が参加したほおっちょけん学習については良い取組だと思います。高齢者の生活を子供の頃から実体験し考える事は、人とのつながりや他人を思う優しい心が自然と育くむだろう。将来どんな大人になるだろうと、想像するだけで楽しく嬉しい気持ちになりました。

④様々な機関との連携や協働による活動

- ひとりで頑張っても、まわりの方の協力なしでは、なかなか成り立たない、もどかしさを感じます。どんなに頑張っても限度があるかと…。
- 多様な支援を求める人は多いが、自分から相談・支援を求めてくる人は少ない。従って社協の取組としては積極的な訪問・支援活動をしていく事が必要ではと思う。
- 充実した地域がうらやましく思う。自分の地域もいかに充実していけるか課題が多い。いかに市と相談解決できるか。いろいろな情報、手助け、解決していけるか、まだまだ先は長い！。何度でも市へ訪問するしかないのかも！。
- 今後様々な機関と連携しながら民生委員として、学んでいきたいです。
- 地区の町内会の会長さんと民生委員との交流があれば、もっと住民の方々の事が把握や共有が出来るのでは？と思います。
- 地域住民がお互いに尊重しあって、いきいきと暮らしていけるよう、支え合える地域づくり。行政も市社協も民間企業、住民も一緒に取り組めるといいな。
- 「令和6年能登半島地震」の教訓などを受けて共有し、「南海トラフ巨大地震」への備え、自然災害等への備え、避難行動のあり方などをアップデートしたい。地域の助け合いの拠点づくりなど、横のつながりを深める活動を行っていきたい。
- 住みなれた地域で安心して暮らしていくためには自助、共助、公助がそれぞれ役割をはたしていくことが大切だと思いますが、最近、自助、共助の役割が喧伝されがちであるように思います。公助がその役割をしっかりと住民に示すことによって、自助、共助との連携が一層強まるように思います。
- 隣近所のつながりがだんだん希薄になりつつあり、声かけはできるけど、あまり深く立ち入れなくなっているため、実態の把握が難しくなりつつあります。このため、公の機関である行政の力がますます必要になって来るように思います。
- 相談事、地域で気になること等、事例毎に市役所、高知市社会福祉協議会等がこの部署につなげば良いかの（電話番号等）一覧表。あれば活動しやすい。緊急を要することもあるので。
- 高齢化により、町内活動もできなくなり、地区の住民だけでは助け合うことができなくなっている地区が少しずつ増えてきていると感じています。このような傾向は、今後増えてくるものと予想されます（鏡地区や土佐山地区ではすでに健在化している地域もある）。このため、市役所や市社協等の支援体制の強化が求められると考えられますが、（資金面）財政面やマンパワーの面でも限界があることから、様々な民間の力を活用することが重要になると思います。併せて、社会的支援を必要としている方に一早く気付くべく、民生委員や主任児童委員が日常的に地域住民とのコミュニケーションや見守り活動をこれまで以上に強化していくことも必要であると思います。

⑤安心して生活できる地域づくり

- 福祉活動を充実しても、支援センターやふれあいセンター、公民館等へ集まりにくい、交通機関の充実が必要。コミュニティーバス等があれば良い。
- 高齢者から良く聞くのは、スーパーがなくなり買い物ができなくなって不便だということです。自分で商品を見て選んで購入したい思いが強いようです。
- 1人暮らし、高齢者が増える中、スーパー等なく、買物に不便せず 交通もなく、全くの1人暮らしの人の安心して生活できる町づくりをしてほしいと願っています。
- 高知市は困ってる方や貧困層に優しい住みやすい土地柄と感じます。

⑥民生委員活動

- 始めてまだ一年でまだ何も解らない状態です。これから少しでも貢献出来るよう、努力したいと思

います。

- 1年目なので、わからない事が多いので、これから勉強していきたい。
- 自分の仕事や家族の事であまり活動ができず、民生委員をやめたい。
- 地域のつながりが希薄になってきた現在、高齢化も進み地域活動そのものが弱まっているが、私自身としてはあまり貢献できない。力不足もあるが、民生委員頼みの制度も限界がある。
- 自分の活動が不足していると感じているので、私からは、高齢者宅への訪問を増やしてゆく所存。その上で、課題をみつけてゆきたい。
- 私は8月17日に女性が亡くなっているのを発見しましたので、一人暮らしの家を今までよりももっと見回りしていただきたく思います。
- 高齢者社会、すさまじい人口減少、不安材料が山積みです。一步ずつの積み重ねを諦める事なく、実行して行きたいと思います。
- 人口減少、高齢化など、問題は山積しています。民生委員そのもの高齢化が進み、なり手不足が言われます。自分自身、大したこともできず、これでいいのだろうか？、この先どうなっていくのだろうか？と不安です。大きな目標を掲げるのではなく、(公助、共助ともに)身の丈に合った、無理のない、実現可能なラインを目指すしかないのではないのでしょうか？。
- あかるい町は200軒程配っておりますが、独居老人高齢者がほとんどで、小学生は数名です。私自身も後期高齢者で後を引継いで下さる方を検討中です。
- 私の住んでる町内は、役員のなり手がいません。わずかな人員でなんとかかしていますが役員も高齢化しています。民生委員のお願いに行くと「めっそもない、どうぞこらえて」といわれる。
- 元公務員、元先生が民生委員になってボランティアして下さい！。
- 浦戸地区も高齢者が多く、後に続く後継者不足のため、次期改選は、欠員が生じるのではと、危惧しております。それが見通しつかないかぎり、地域福祉事業も難しいかも。
- 民生委員のなり手が少ないので、何か対策が必要と思われる。
- 昨今は社会福祉の窓口が増え、社会福祉協議会、市の窓口、地域包括支援センターなどへの相談で、解決されることが多く、民生委員の存在価値が少なくなっているように思う。ただ、そのような窓口で直接相談する術を知らない人もあり、そのような住民を拾い上げていくのも民生委員の役割だと思う。そのためには、民生委員の認知度を、もっともっと上げていく努力をすべきだと思う。

⑦その他

- 不燃物、ゴミ等町内にまかせる時代ではないと思います。思い切って民間会社、社協等にまかせてみては。町内の同じ人が役員でいるのもおかしいと思います。負担がかかるので。全ては高齢化。いろいろ他県をベンチマークし、変えるべきだと考えます。他の町内の好事例の情報共有化も必要。町内で見守りや高齢者の支援等とても難しい。その為の組織だとしても相談があって動くのではなく、一部の人に負担を強いるのでもない、新しい地域、町内のあり方を期待したいです。
- 高齢化が急速に進むと思うので、支援の必要な人、元気で支援の手伝いのできる人、それぞれの立場での生きがいのある生活ができるよう、予測して準備してほしい。
- 個人情報保護法の関係で情報の共有が難しくなってきた感があります。本当に必要な事案には信頼できる方々には時と場合に応じて情報開示も必要だと思います。
- 情報が少なすぎると感じます。行政側でわかっている情報を出していただけたらと思います。その上で手だてを考えたらどうかなと思います。
- 少子高齢化の状況で、地域の活動の担い手が少なくなり負担感も増している。関係性の希薄化もあり、いろいろの情報の共有が難しい。個人情報も必要なことは教えてほしい。民生委員として活動

するなかで感じている。

- 地域包括支援センターの利用は 65 才以上とのことで、65 才未満の相談者について、やや対応薄になる場合がある。生保世帯での自動車（自家用車）の保持は、原則困難ではあるが、個人の身体的及び経済的理由により、通院及び生活物資の購入等に不可欠な場合もあり、十分に状況を聴いたうえで、認める場合の事例を増やして欲しい（公共交通機関の利用では、パニック障害となる方もいる。毎回のタクシー利用では負担が大きい）。モンスター受給者が発生した場合又は発生しそうな場合は、担当者の個人対応ではなく、チーム及び組織対応として情報を共有し、より理解を深める対応を図っていただきたい。
- 窓口が多すぎてわかりづらい！。もっとシンプルにすべきでは。
- 県や市の条例がわからない。福祉政策がわからない。知らない部分があり、日々勉強しなくてはと思うのですが、どの様にして理解してよいのかわからない。
- 特に働きが見えてこない。災害等の詳しい説明が欲しい。
- 「赤い羽根共同募金」の一部がある団体から”公金チューチュー”されていたとのニュースを見たことがあります。こういうことをされると本当にやる気が失せてしまいます。腹立たしいです。不正の監視を十分行ってほしいと思います。
- 高齢化社会にもかかわらず、施設等で働いている（看護師・ヘルパー他）人が少ないのは賃金が多まりにも低いのでは…。賃上げすべきである。
- 人の配置が少なすぎる。
- 地方が元気なくして地域福祉はないと思う。大店法、三位一体で地域の小商い、牧場で働く者、集う人々消えた。道路でモノが来る、カネと人が中央に吸い上られる、税を取る、中央と同率で取る、平等で良いと思う。しかし地域福祉、子育て、高齢者…政策を言うなら地方にどんどん分配。カネが回れば人も定着。雇用も生れる。福祉へも目が向く。地域が繋がる。
- 現状維持で良いと思います。
- 良く出来てると思います。

地域福祉に関するアンケートのお願い

あなたは、困っている人がいたらどうしますか？
ほおっちょく？ それとも ほおっちょけん？



民生委員・児童委員の皆様には、日頃から市政に関してご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

人と人との関係が希薄化してきたといわれている現代社会ですが、高知市は「つながる、をあきらめない。」みんなでみんなを支え合う社会「高知市型共生社会」を目指しています。

このような社会を実現するためには、市役所だけで考えるのではなく、民生委員・児童委員の皆様の活動や思いを知ることが大切だと考えています。

多くの方に回答いただくことが、より良い取組につながります。

どうかご協力をお願いいたします。

令和5年11月 高知市

※ 本調査は第3期高知市地域福祉活動推進計画策定（高知市、高知市社会福祉協議会が共同策定）の基礎資料とするために実施するものです。

調査票にご記入いただくうえでのご注意

- * それぞれの問いについて、あてはまる選択肢に○をつけてください。その他を選ばれた方は、具体的な内容を（ ）の中にお書きください。
- * お答えいただきました調査票は、**無記名のまま、12月の地区定例会**にご持参ください。
- * **インターネットで回答いただくことも可能です**。詳しくは、次ページをご覧ください。

この調査のお問い合わせは以下へお願いします。

高知市健康福祉部 地域共生社会推進課

電話 088-821-6513

FAX 088-821-7230

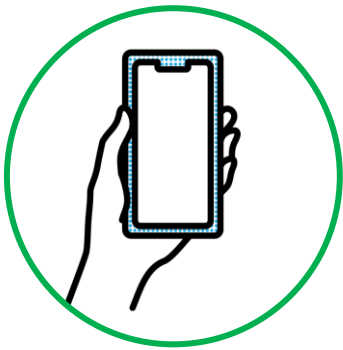
メール kc-111200@city.kochi.lg.jp



スマホで簡単！！

インターネットからも回答できます！

地域福祉に関するアンケート調査は、インターネットで回答いただくことも可能です。



スマートフォン・パソコン・タブレット端末で二次元コードを読み取るか、URL
にアクセスしてご回答ください。

インターネットでご回答いただいた場合、紙の調査票は提出せず、破棄して
いただきますようお願いいたします。

https://apply.e-tumo.jp/city-kochi-kochi-u/offer/offerList_detail?tempSeq=7847



地域福祉に関するアンケート調査票

問1 あなたの性別は。 (1つだけ○印)

- | |
|---------------------------------|
| 1) 男性 |
| 2) 女性 |
| 3) その他 (どちらともいえない・分からない・答えたくない) |

問2 あなたの年齢は。 (1つだけ○印)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1) 40歳未満 | 5) 65～69歳 |
| 2) 40歳代 | 6) 70～74歳 |
| 3) 50歳代 | 7) 75歳以上 |
| 4) 60～64歳 | |

問3 あなたは民生委員・児童委員になってどれくらいになりますか。 (1つだけ○印)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1) 3年未満 | 4) 9年以上12年未満 |
| 2) 3年以上6年未満 | 5) 12年以上15年未満 |
| 3) 6年以上9年未満 | 6) 15年以上 |

問4 あなたの所属する地区民児協は。 (1つだけ○印)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1) 上街 | 10) 潮江 | 19) 鴨田 |
| 2) 高知街 | 11) 三里 | 20) 長浜 |
| 3) 南街 | 12) 五台山 | 21) 御畳瀬 |
| 4) 北街 | 13) 高須 | 22) 浦戸 |
| 5) 下知 | 14) 布師田 | 23) 大津 |
| 6) 江ノ口東 | 15) 一宮 | 24) 介良 |
| 7) 江ノ口西 | 16) 秦 | 25) 鏡 |
| 8) 小高坂 | 17) 初月 | 26) 土佐山 |
| 9) 旭 | 18) 朝倉 | 27) 春野 |

問5 あなたの担当区域の住民は、お互いに助け合いができていると思いますか。 (1つだけ○印)

- | |
|--------------|
| 1) 大変そう思う |
| 2) そう思う |
| 3) あまりそう思わない |
| 4) そう思わない |
| 5) 分からない |

問6 あなたの考える「地域での望ましいつながりの程度」はどれくらいですか。
(1つだけ○印)

- 1) お互いに助け合える関係
- 2) 挨拶をする程度
- 3) 地域でのつながりは必要と感じない

問7 あなたの担当区域にどのような集いの場が特に必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つ以内に○印)

- 1) 高齢者が集える場
- 2) 子育て世代が集える場
- 3) 障害のある人が集える場
- 4) 多世代交流のできる集いの場
- 5) 介護について相談できる集いの場
- 6) 食を通じた交流の場
- 7) 子ども食堂
- 8) 趣味活動など余暇を楽しめる集いの場
- 9) 生活のちょっとしたことを気軽に相談できる場
- 10) 地域の課題解決に向けた話し合いの場
- 11) その他 ()
- 12) 特に必要ない

問8 高知市が設置している生活に関する相談窓口を知っていますか。
(知っているものすべてに○印)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1) 地域包括支援センター | 6) 市民会館 |
| 2) 子育て世代包括支援センター | 7) 情報公開・市民相談センター |
| 3) 障害者相談センター | 8) 消費生活センター |
| 4) 生活支援相談センター | 9) ほおっちょけん相談窓口 |
| 5) 成年後見サポートセンター | 10) いずれも知らない |

問9 地域福祉を推進し、住民主体の地域福祉活動のお手伝いをする「高知市社会福祉協議会」があります。あなたはこの組織を知っていますか。
(1つだけ○印)

- 1) 名前も活動の内容もよく知っている
- 2) 名前は知っており、活動内容も少しは知っている
- 3) 名前は知っているが、活動内容は知らない
- 4) 名前も活動内容も知らない

問 10 住民の生活の困りごとへの対応状況を教えてください。

(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|------------------------|-----------|
| 1) 困りごとの相談を受けたことがない | ⇒問 12 へ |
| 2) 高齢者から相談を受けたことがある | } ⇒問 11 へ |
| 3) 子育て中の親から相談を受けたことがある | |
| 4) 子どもから直接相談を受けたことがある | |
| 5) 障害のある人から相談を受けたことがある | |
| 6) その他の方から相談を受けたことがある | |

問 11 問 10 で「相談を受けたことがある」と答えた方にお聞きします。相談を受けた具体的な生活の困りごとの内容を教えてください。

(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1) 介護 | 11) 家族との関係 |
| 2) 障害 | 12) ご近所との関係 |
| 3) 子育て | 13) 社会参加 |
| 4) 経済的困窮 | 14) ひきこもり |
| 5) 病気や健康 | 15) 不登校 |
| 6) 家の中の掃除 | 16) ヤングケアラー |
| 7) 庭掃除 | 17) その他 () |
| 8) ごみの分類・ごみ出し | |
| 9) 電球交換 | |
| 10) 買い物 | |

問 12 住民の相談を受けて困った際に、頼る先はどこですか。

(あてはまるものすべてに○印)

- | |
|-------------------------------------|
| 1) 地区民生委員児童委員協議会 (会長, 副会長, 主任児童委員等) |
| 2) 民生委員児童委員協議会連合会事務局 (健康福祉総務課) |
| 3) 生活保護等担当者 (福祉管理課, 第一福祉課, 第二福祉課) |
| 4) 地域包括支援センター |
| 5) 子育て世代包括支援センター |
| 6) 障害者相談センター |
| 7) 生活支援相談センター (社会福祉協議会委託) |
| 8) 地域福祉コーディネーター (社会福祉協議会委託) |
| 9) ない |
| 10) 困ったことはない |
| 11) その他 () |

問 13 あなた自身、民生委員児童委員の活動を通して関心のある活動を教えてください。
(あてはまるもの3つ以内に○印)

1) 高齢者支援の活動	7) 小・中学生と連携したボランティア活動
2) 子育て支援の活動	8) 地域活動の担い手育成
3) 障害者支援の活動	9) その他
4) 災害援助などの活動	()
5) 防災に関する活動	10) 特になし
6) イベント・行事等	

問 14 高知市及び高知市社会福祉協議会の地域福祉の取組の評価についてお聞きします。(1つだけ○印)

高知市地域福祉活動推進計画では、「地域共生社会の実現」を掲げ、「だれもが安心して、いきいきと自分らしく暮らせる支え合いのあるまち」を基本理念に、様々な取組を進めてきました。

例：「地域福祉コーディネーター」の配置（平成25年度～）や、「ほおっちょけん相談窓口」の設置（令和4年度全市展開）、「ほおっちょけん学習」の実施、「生活支援ボランティア」の養成等

1) 評価する
2) 評価しない
3) 分からない

⇒上記1)～3)を選択した理由をお書きください。
【理由： _____】

問 15 地域福祉のあり方などについて、自由に意見をお書きください。



ご協力ありがとうございました。

